

設立趣旨書

NPO法人キャリア・アシスト・ネットワーク
設立代表者 松岡理香子

1 趣旨

近年の雇用環境は、終身雇用、年功序列といった従来日本型の経営の制度が崩れ行く中、職業生活の長期化や働き方の多様化、技術革新の進展、及び加速化等により、就業構造は著しく変化をしています。こうした変化は、労働者に仕事内容に対する不満やストレスを与えることとなり、自らのキャリア形成を悩ませる労働者や失業者を生み出す原因のひとつとなつています。また、最近では有効求人倍率の上昇が見られるものの非正規雇用の割合が多く、特に若年者の定着率が低い傾向にあります。

我々は、平成26年よりキャリアコンサルタント有資格者とその資格を目指す者たちが中心となり、若年者、中高年者、女性、障がい者或いは中小企業のキャリア研修等の支援に関して、様々な角度から勉強会を重ねてまいりました。

そこで、雇用環境の変化が影響する諸問題の解決手段の一つとして、キャリアコンサルティングによる相談・支援が有効に機能するとの考えに至りました。

実際、国においても平成13年の第7次職業能力基本計画でキャリアコンサルティングの必要性を重視しキャリアコンサルタントの養成計画を5万人目標としました。キャリアコンサルティングの効果として、企業においては、理念やビジョン浸透以外にも、定着率、人事管理、メンタルヘルス、モチベーション、ダイバーシティ推進、ワークライフバランス等々従業員の意識向上に効果をあげたとされる一方で、キャリアコンサルティングに関する認知度は、一部の大企業のキャリア研修や就労支援現場でのマッチング等に留まり、広がりを見せない現状から、「日本再興戦略」改訂2014ー未来への挑戦ーの閣議決定を基に平成36年度末までに当該養成計画を10万人としました。

我々の考えは、国の方針と重なる部分も多く、キャリアコンサルティングの実施と普及活動を地域に広める社会インフラ的一翼を担い、大阪市市民や大阪市内の企業の皆様が、安心して相談できる社会的信頼性のある団体となるためには、特定非営利活動法人の設立が最適と判断し、此処にNPO法人キャリア・アシスト・ネットワークの設立を行うことと致しました。

